

平成26年度 文部科学省
「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

多職種連携 医療専門職養成プログラム

CoMSEP Coordinated, Continuing, Medical Staff Education Program



 筑波大学
University of Tsukuba

 茨城県立医療大学
IBARAKI PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

プログラムの概要

筑波大学医療科学類(臨床検査技師)、茨城県立医療大学放射線技術科学科(診療放射線技師)、同大学理学療法学科(理学療法士)が共同事業として実施する。

①学部教育プログラム：臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士の3職種は、病院のそれぞれのセクションで日常業務に従事しており、患者さんを「連携して」サポートする機会は少ないのが現状です。CoMSEPの学部教育プログラムでは、臨床実習前の両大学の3年生を対象に「生体機能診断」ワークショップを実施して、卒前からチーム医療を意識させることをねらいとしています。学生は「患者さんの生体機能情報をいかに診断し治療・ケアに反映させるか」という課題を小グループで討議することを通して、各医療専門職の専門性を理解するとともに、連携して課題を解決していくプロセスを体得します。

学部教育プログラムでは、生体機能診断ワークショップに引き続き、臨床実習前の客観的臨床能力評価(OSCE、OSLE*)を実施することにより、学生のチーム医療への意識と学内実習(臨床実習前)の総合的な達成度を客観的に評価します。こうした学部教育プログラムによって、医療の現場に出たときにチーム医療を先導していく医療専門職の育成を目指します。

*Objective & Structured Laboratory Examination

②履修証明プログラム：履修証明プログラムには、①大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能、②再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム、③修了者には学校教育法に基づき履修証明書を交付、という3つの特徴があります。

CoMSEPでは、60時間のe-learningの履修と、レポート提出を前提とした集中開講のスクーリングからなる「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」という履修証明プログラムを筑波大学に開設します。臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士を主な対象とし、卒業大学(専修学校)や卒業年次の制限、ならびに勤務病院の制限はありません。e-learningは筑波大学と茨城県立医療大学の教員による授業科目であり、学び直しのために、体系的かつ、短期間で修了できる構成になっています。一方、スクーリングは年4回に分けて、主に休日開催で実施し、医療専門職として働く社会人の履修がスムーズに実施できるように配慮しています。さらに両大学合同公開講座を履修証明プログラムに組み込むことで、各医療専門職の枠を越えた人的交流が活性化されることが期待されます。本履修証明プログラムにより、臨床実習指導を担当する医療専門職が専門的視野を広げ、最新知識を獲得できることを目指します。

プログラムの目的

生体機能診断にかかわるメディカルスタッフ(臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士)を養成する二大学三学科(類)(筑波大学医療科学類と茨城県立医療大学放射線技術科学科・理学療法学科)とその関連病院が連携して、学部課程におけるチーム医療の教育を進めるとともに、優れた広い視野を有する指導的メディカルスタッフの養成を目的とした履修証明プログラムを筑波大学に開設する。

養成すべき人材像

①学部レベル：各医療専門職を目指して専門科目を履修した学生が「患者さんの生体機能情報をいかに診断し治療・ケアに反映させるか」という課題を小グループで討議するワークショップを通して、チーム医療への意識を高めるとともに、自身の専門性を理解した学生の輩出を目指す。

②大学等卒業後：医療専門職としての臨床経験を積んだメディカルスタッフが、この履修証明プログラムを履修することによって「生体機能診断」にかかわる最新の専門知識を深め、多職種の連携による広い見識を獲得して、臨床実習における優れた指導能力を有する医療専門職を育成する。



多職種連携医療専門職養成プログラムの推進に向けて

筑波大学 医学群長 原 晃

本プログラムは、平成26年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に医学群として採用されました。本プログラムは本学群医療科学類の臨床検査技師養成課程と、茨城県立医療大学の診療放射線技師、理学療法士養成課程との協働で、高度医療人材養成をめざすcoordinated, continuing, medical staff education programを形成、推進するものです。本学では国立大学のミッションの再定義が行われ、単に国家資格取得による医療人材養成のみならず、卒後も日本の医療界を牽引できる研究マインドをもって課題の発掘と解決に向けた自ら学ぶ教育、課程の推進をミッションとしております。今回のプログラムもその一環として、多職種間の協働でしかない得ない医療人としての「学び」をすることで、それぞれの職種におけるキャリアアップを目指して戴ければと思います。



多職種連携医療専門職養成プログラム(CoMSEP)のスタートにあたって

筑波大学 医療科学類長 二宮 治彦

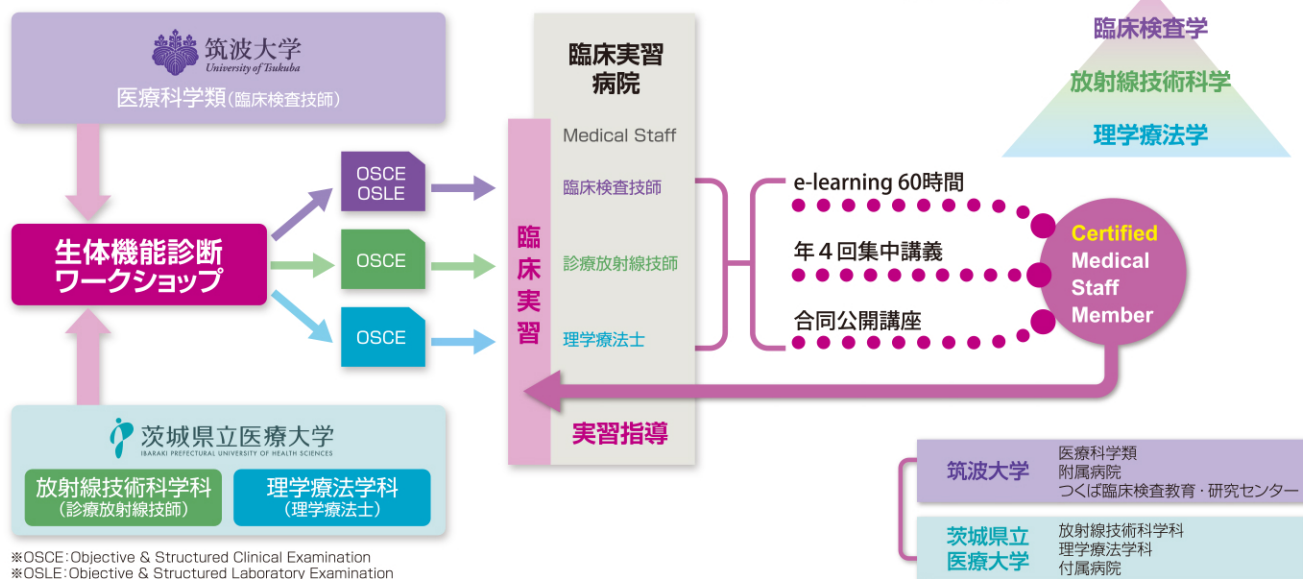
平成26年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」への応募を通じて、医療科学類が養成する「臨床検査技師」、茨城県立医療大学が養成する「診療放射線技師」「理学療法士」の卒前・卒業後の「課題」は何か? 両大学は何かができるかを考え、CoMSEPを提案し、幸い、高い評価を受けて採択されました。CoMSEP(Coordinated, Continuing, Medical Staff Education Program)というコピーに思いを込めました。これら医療専門職の3～4年間の教育課程では、とく「国家資格」を得るために必要な知識・技能を授ける(詰め込む)ことが最大の目標となってしまう。医療人としての総合力の養成には、「診断」を支援する専門職、「治療」を支援する専門職といった「メディカルスタッフ」に対する従前の枠を超える卒前・卒業後の教育システムが必要であると考えます。CoMSEPは卒前教育では医療人としての意識を、卒業後教育では医学・医療に関する知識と技術の幅を広げ、生涯にわたって自ら学びとるマインドを刺激したいと思っています。結果、後輩医療人である学生の指導を通じて好循環が生まれることを期待しています。「教える」ことを通じて「学ぶ」ことは多いものです。「履修証明プログラム」での「学び」をあなたの医療人としてのキャリアアップに活かしてください。その気持ちに応えられるプログラムを展開していきます。

プログラムの紹介

①**学部教育プログラム**：①画像情報、②生理機能情報、③臨床検査情報の評価をテーマにしたシナリオや実習をもとに、学部学生が治療やケアについて討論する(年4回)。

②**履修証明プログラム**：平成27年度から、生体機能診断支援メディカルスタッフのための履修証明プログラムを筑波大学に開設する。このプログラムは、e-learningと年4回の集中講義によって行われる。臨床実習指導を担当するメディカルスタッフが専門の視野を広げ、最新知識を獲得するものである。また、両大学合同の公開講座も組み込まれており、メディカルスタッフの人的交流も活発化させる。

筑波大学 履修証明プログラム
「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」
(120時間)



達成目標・評価指標

5年間の支援期間において、これまで連携の少なかったメディカルスタッフが学部課程から卒業まで継続的に交流することにより、将来のチーム医療がさらに進むことを期待する。また、臨床経験を重ねたメディカルスタッフが大学の履修証明プログラムを履修することは自身の知識の向上にとどまらず、大学—臨床実習病院の連携がより深まり、学部学生に充実した実習指導として還元される正の教育効果が期待できる。本プログラムの評価は学部学生のチーム医療への意識向上、履修証明プログラム修了スタッフによる臨床実習の評価の向上を指標とする。履修証明を受けたメディカルスタッフが、本プログラムを通じて得た多職種との連携強化や学問的目覚めによる学会活動の活発化なども評価指標としたい。履修証明プログラムの履修登録生の数は、この領域のメディカルスタッフにとっての卒業教育へのニーズと本プログラムの良否によると考える。各医療専門職の職能団体による卒業教育プログラムへの協調度などもプログラムの評価指標とする。



CoMSEP開始のご挨拶

茨城県立医療大学 放射線技術科学学科長 佐藤 斉

医療放射線は、現代医療の中で画像診断や放射線治療などの分野で大きな役割を果たしています。近年では、「医療専門職」が互いに連携して診断や治療を支援し、効果的な医療を推進するための「チーム医療」の概念が導入されています。さらに、2014年6月に診療放射線技師法が改正され、診療放射線技師が行う「診療の補助」の役割をより明確に示して、「チーム医療」の推進に関する教育内容の充実を新たに求めています。時代と共に変容する社会的な動向を踏まえて、「医療専門職」として確実にその使命を果たしていくためには、より豊かな対応力を修得する必要があります。国家試験に合格するための勉強だけではなく、「専門」の知識と技術に加えて、学生時代から多職種と交流を図り、相互の理解を深めていく必要があります。CoMSEPは、それらの学修支援を目標に教育プログラムを構築し、5年計画で実施されます。

また、学生の臨床実習において、医療の実践を実習生に指導する立場の「臨床実習指導者」のご理解・ご協力と、その役割はより重要となります。より効果的な臨床実習を実現するために、現職者を対象とした「履修証明プログラム」により大学教育との連携強化を図ります。



CoMSEPで臨床能力を高めよう

茨城県立医療大学 理学療法学科長 大橋 ゆかり

CoMSEPは、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士ならびにこれらの医療専門職を目指して勉強している学部生のための学修プログラムです。現代の医療は、EBMとチーム医療を中心的概念として発展していこうとしています。理学療法士は、看護師、作業療法士を始めとする、患者さんに接して医療を提供する専門職とチームを組むのみならず、患者さんの病態に関するデータを提供する臨床検査技師、診療放射線技師とも連携することによりエビデンスの高い医療を提供する必要があります。このような観点から、CoMSEPは希少かつ貴重な学修の場になると考えています。

卒前プログラムでは、筑波大学と茨城県立医療大学が合同で授業を行います。医療専門職を目指す各学部生が、同じテーマについてディスカッションし、実習を行うことにより、学部生のうちから互いの職種に対する理解を深めていけば、将来の職場環境もより良いものになるでしょう。

卒後プログラムでは、現職者に配慮してe-learningを中心とした学修を提供します。学修内容には、理学療法士の現職者にとっては普段得にくい、臨床検査や診療画像に関する内容が含まれています。

CoMSEPを通じて、1段階上の幅広い知識を身に付けましょう。



平成26年度 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

多職種連携医療専門職養成プログラム

CoMSEP Coordinated, Continuing, Medical Staff Education Program

■CoMSEP 事務局 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 医療科学類 TEL/FAX: 029-853-5604, 3455

■筑波大学 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

■茨城県立医療大学 〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町大字阿見4669番地2

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/comsep/>